



チューリップ

建設情報誌

# C-net 通信

Construction

さが

『C-net通信』で

検索

2013年4月17日

発行所：(株) NSC

http://www.nsci.co.jp

■会員料金■

## 永年勤続表彰や記念講演、祝賀会 創業記念式典に200人 日本建設技術(株)、(株)精工コンサルタント



挨拶する原社長

冒頭、原社長が「日本建設技術は1953年に私の父弘がボーリングマシン1台から創めた会社です。長崎県の壱岐で始め、私が中学校の時、本人だけ唐津の方に出て来て明和ボーリング(株)という会社を立ち上げました。その後、岸本ボーリング(株)という社名に変更し、1995年に日本建設技術(株)に社名を変えました。ミラクルソルを活用した特許工法などで、今では、研究開発型の会社と見てくれる人が多くなっている。建設業を大事に守りながら、環境と情報技術という新しい分野にも積極的に乗り出しています。今後とも、時代のニーズを的確に感じ取りながら、新たな挑戦を次なるステージへと邁進していきたい。」と挨拶した。

引き続き、佐々木社長が「当社は昭和48年2月、(株)精工測量調査設計として創業し、平成5年4月に現在の(株)精工コンサルタントに社名を変更しております。創業以来、測量・設計業務のほか、地質調査、水質調査等の各種調査業務、また補償業務を行ってきた。最近では、公物管理における発注者支援業務や電気通信に関するコンサルタント業務を加え、県内でも類をみない総合建設コンサルタントとして官公庁や民間のお手伝いをさせて頂いている。今日の創業式典を、社員一同、新たなスタートの日として事業に取組み、更なる飛躍を目指していきたい。」と挨拶した。

日本建設技術(株) (原裕社長、唐津市北波多) の創業60周年と(株)精工コンサルタント (佐々木義文社長、同) の同40周年の記念式典が13日、唐津シーサイドホテルで盛大に催された。来賓やグループ企業の社員ら約200人が出席。永年勤続の表彰や記念講演、祝賀会などで、両社の社歴を振り返ると共に、新たな挑戦と更なる飛躍を誓い合った。



創業式典の会場



佐々木社長



祝賀会で乾杯

の北波多で成長を遂げているのは、私も奇跡と思っている。」と述べた。そして、唐津市の世戸政明副市長が坂井俊之市長の祝辞を代読した。

永年勤続表彰では、日本建設技術(株)の40年～10年勤続の39人に対して賞状と記念品が授与された。

記念講演では、日本建設技術(株)の林重徳・技術戦略本部統括本部長 (佐賀大名誉教授) が『気候変動と災害～そして土木の役割～』の演題で講演。また、原社長が『会社のあゆみと技術開発』の演題で、同社の業績などを振り返った。